

街道遺構

《道標》



川之江町には、土佐北街道、金毘羅街道、山田井街道、松山道などの街道に関する遺構が多く残されている。

特に土佐北街道は、土佐藩が参勤交代に使用した街道ある。新町の西川ふれあい塾のところに本陣跡があり、土佐北街道は、ここから新街筋を南下し、和田医院の前（写真1枚目）を通り、右折、左折を繰り返しながら山下へぬける。そこから馬場の踏切をわたり、金生橋に至る。さらに、金生町、上分町、金田を通り、法皇山脈を越え、新宮町に至る。

農人町の八幡神社の参道近くには、金毘羅街道の道標（写真2枚目）が残る。金比羅街道は、ここから北進し、塩釜神社から現在の11号線に出る。11号線沿いには、一里塚跡があり、二名の長須には石灯籠が残る。

金毘羅街道の道標から少し北寄りのところ、山田井街道の道標（写真3枚目）がある。ここから、東へ延びる道が山田井街道である。

また、鉄砲町と古町筋の交わるころには松山道の道標（写真4枚目）がある。

《街道沿いの遺構》



街道沿いには、道しるべや常夜灯などの遺構が残されている。

左上は、現在西川ふれあい塾として活用されているもので、かつての本陣跡とである。土佐北街道沿いの馬場には、常夜灯（右上）が残されている。

農人町の金毘羅街道沿いにも常夜灯が残されている。

また、東大門の山田井街道沿いにも自然石で作られた常夜灯がある。

さらに、塩谷の純真堂の近くの金毘羅街道沿いには、一里塚跡の碑がある。